

日記(古本)

梅原捷子

學用ノート統制株式會社

DFB

㊦ 外文堂ノート有限公司  
六十枚 定價參拾圓

私  
繪日記

福光殊閣地号  
卷一







オマコヤ



三月二十七日 火曜日 晴  
 合白はあつて 日火曜日晴  
 りとしかやほふのてあかぬぐんが  
 はつかのぼしとあはすぐり  
 すふんしんとあはすぐり  
 へましとあはすぐり  
 井しとあはすぐり  
 またはがすぐり  
 ーおり  
 たるき





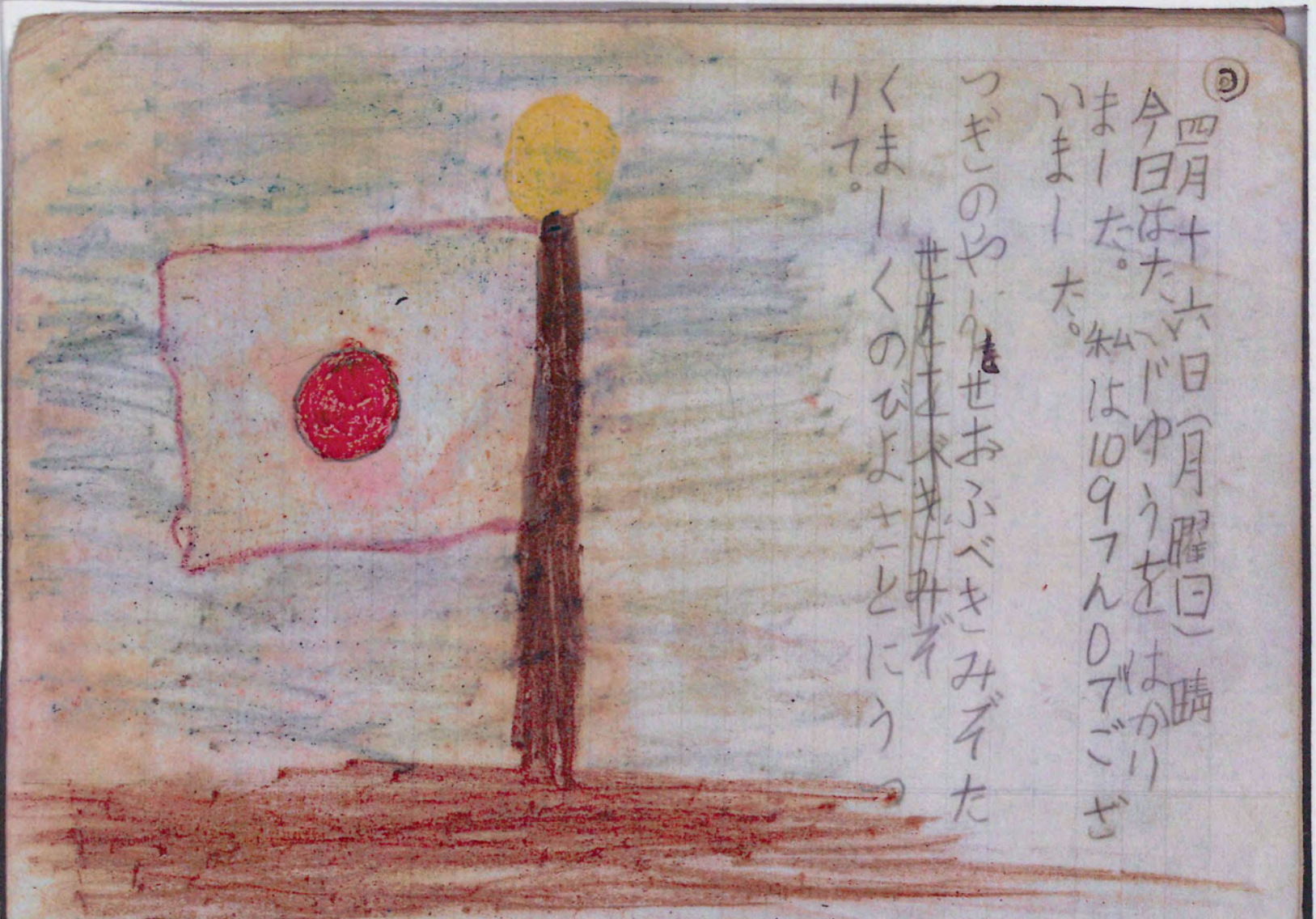












④  
 四月十六日(月曜日)晴  
 今日はお天がよいので  
 散歩に行きました。  
 つぎのやうに  
 世界をめぐります  
 くりまわりのびよりと  
 いきます。

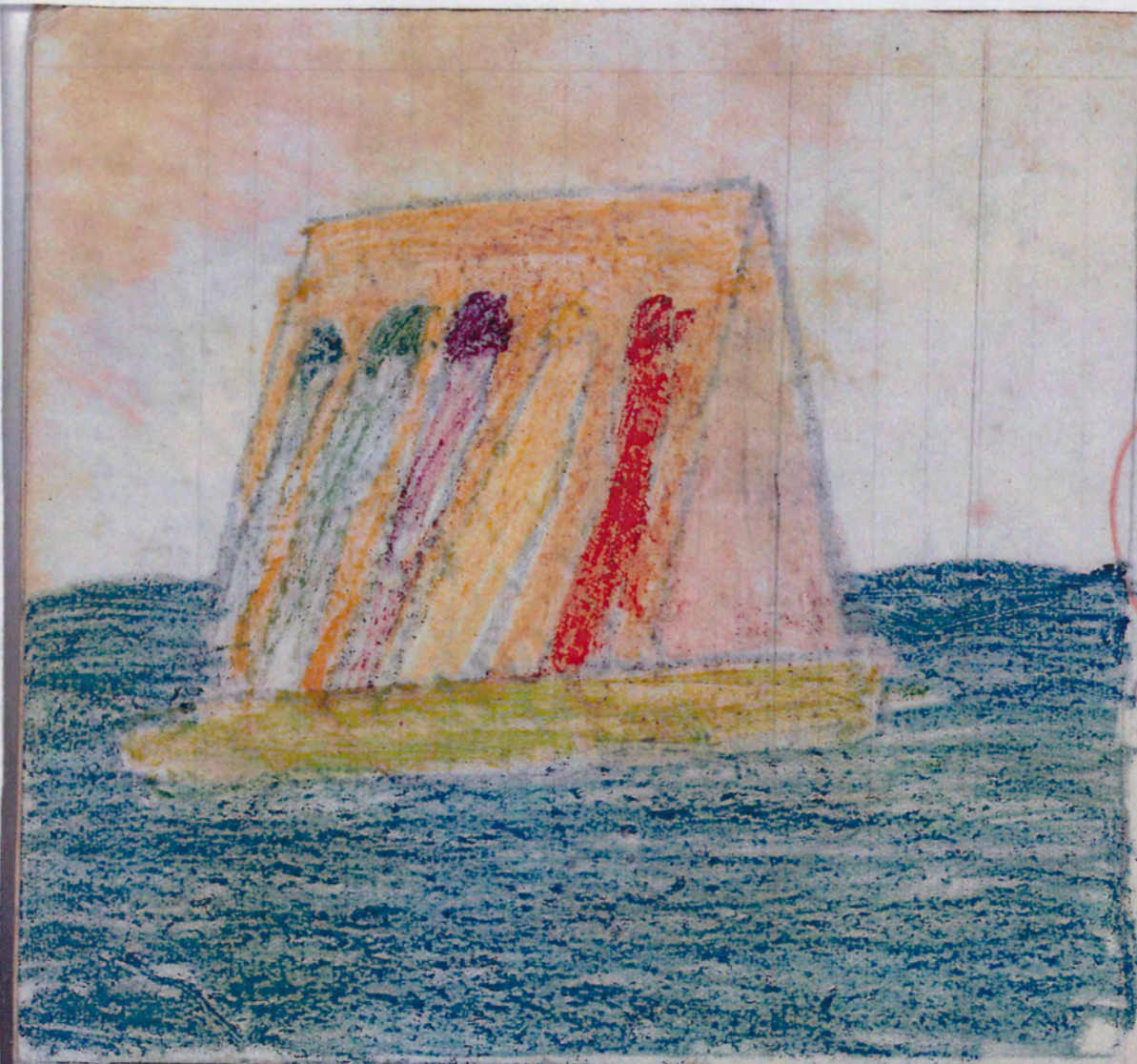


四月十七日(火曜日)晴  
 今日はお天がよいので  
 散歩に行きました。  
 つぎのやうに  
 世界をめぐります  
 くりまわりのびよりと  
 いきます。

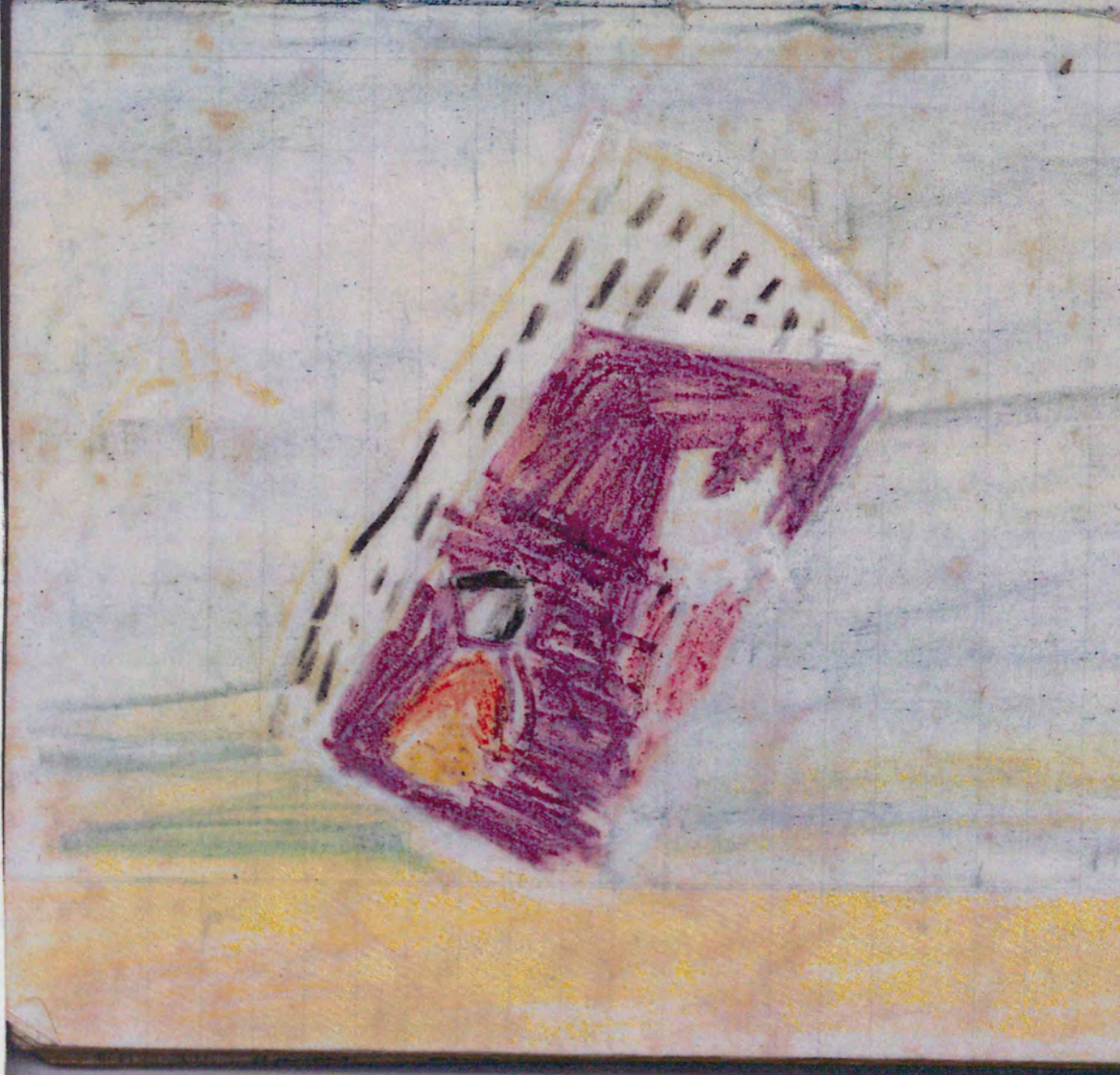








四月二十日 金曜 日暮云のち晴  
 ははせんたけはれどはれ  
 けいせんたけはれどはれ  
 けいせんたけはれどはれ  
 のきんかあはりまだれがたれ  
 るーいんかあはりまだれがたれ



四月二十一日 土曜 雨  
 雨かかんめはれどはれ  
 雨かかんめはれどはれ  
 雨かかんめはれどはれ  
 雨かかんめはれどはれ  
 雨かかんめはれどはれ









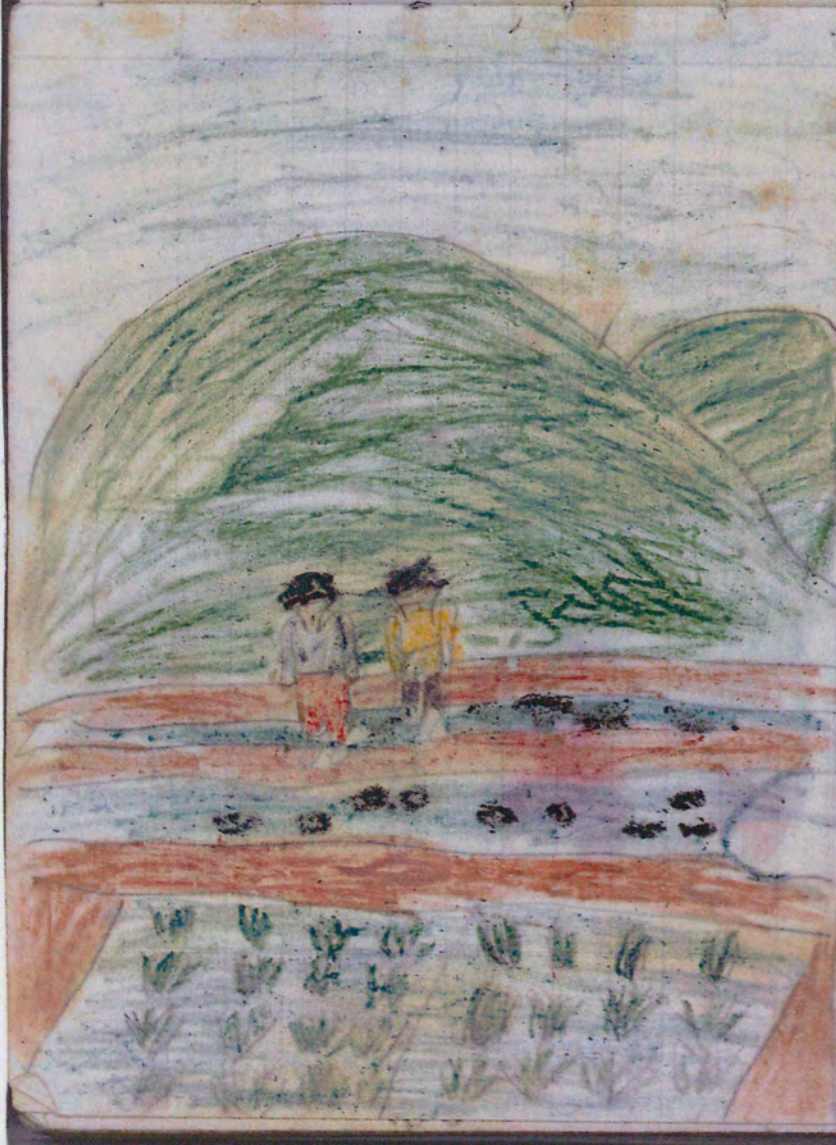








五月十日 木曜日 晴  
 今日はお天が晴れ  
 じいさんがおめめ  
 一どかんめは女  
 キンちゃんひつで  
 とらんはよ三宮地  
 一どかんめはよ三宮地  
 かたでんめはよ三宮地  
 ここのまたんく三宮地  
 つまみかたおつぱ  
 のまかみかたおつぱ  
 宮地先生



五月十日 金曜日 晴  
 今日はお天が晴れ  
 じいさんがおめめ  
 一どかんめは女  
 キンちゃんひつで  
 とらんはよ三宮地  
 一どかんめはよ三宮地  
 かたでんめはよ三宮地  
 ここのまたんく三宮地  
 つまみかたおつぱ  
 のまかみかたおつぱ  
 宮地先生





五月十三日 日曜日  
 この中で一はなん  
 すきなをなん  
 つたふはちゆう  
 ぼんぼはめいのん  
 だんすもです



五月十四日 月曜日  
 まいどちちお  
 きるがとて  
 もちるい  
 す。と山に  
 と。ははあ  
 いらはな  
 いるし  
 私と鬼ひまし  
 た。



五月十四日 月曜日  
 五月十五日 火曜日  
 五月十六日 水曜日  
 五月十七日 木曜日  
 五月十八日 金曜日  
 五月十九日 土曜日  
 五月二十日 日曜日  
 五月二十一日 月曜日  
 五月二十二日 火曜日  
 五月二十三日 水曜日  
 五月二十四日 木曜日  
 五月二十五日 金曜日  
 五月二十六日 土曜日  
 五月二十七日 日曜日  
 五月二十八日 月曜日  
 五月二十九日 火曜日  
 五月三十日 水曜日









五月三十日  
 今日が五月三十日です。朝から雨が降りました。お天気がよく、お山にお出かけしました。お花見をしました。お友達と遊んで、お昼ごはんを食べました。お帰りは、お家まで帰りました。お母さんがお迎えに来てくれました。お楽しかったです。



五月三十日  
 今日五月三十日の朝、お雨が降りました。お友達と遊んで、お花見をしました。お帰りは、お家まで帰りました。お母さんがお迎えに来てくれました。お楽しかったです。





ヨシカタノジカシ



五月二十五日  
 一、五月二十五日、海軍省の  
 二、五月二十五日、海軍省の  
 三、五月二十五日、海軍省の  
 四、五月二十五日、海軍省の  
 五、五月二十五日、海軍省の  
 六、五月二十五日、海軍省の  
 七、五月二十五日、海軍省の  
 八、五月二十五日、海軍省の  
 九、五月二十五日、海軍省の  
 十、五月二十五日、海軍省の

五月二十四日（木）  
 今日、五月二十四日、海軍省の  
 一、五月二十四日、海軍省の  
 二、五月二十四日、海軍省の  
 三、五月二十四日、海軍省の  
 四、五月二十四日、海軍省の  
 五、五月二十四日、海軍省の  
 六、五月二十四日、海軍省の  
 七、五月二十四日、海軍省の  
 八、五月二十四日、海軍省の  
 九、五月二十四日、海軍省の  
 十、五月二十四日、海軍省の



五月二十五日  
 今日、五月二十五日、海軍省の  
 一、五月二十五日、海軍省の  
 二、五月二十五日、海軍省の  
 三、五月二十五日、海軍省の  
 四、五月二十五日、海軍省の  
 五、五月二十五日、海軍省の  
 六、五月二十五日、海軍省の  
 七、五月二十五日、海軍省の  
 八、五月二十五日、海軍省の  
 九、五月二十五日、海軍省の  
 十、五月二十五日、海軍省の



五月二十五日  
 今日、五月二十五日、海軍省の  
 一、五月二十五日、海軍省の  
 二、五月二十五日、海軍省の  
 三、五月二十五日、海軍省の  
 四、五月二十五日、海軍省の  
 五、五月二十五日、海軍省の  
 六、五月二十五日、海軍省の  
 七、五月二十五日、海軍省の  
 八、五月二十五日、海軍省の  
 九、五月二十五日、海軍省の  
 十、五月二十五日、海軍省の















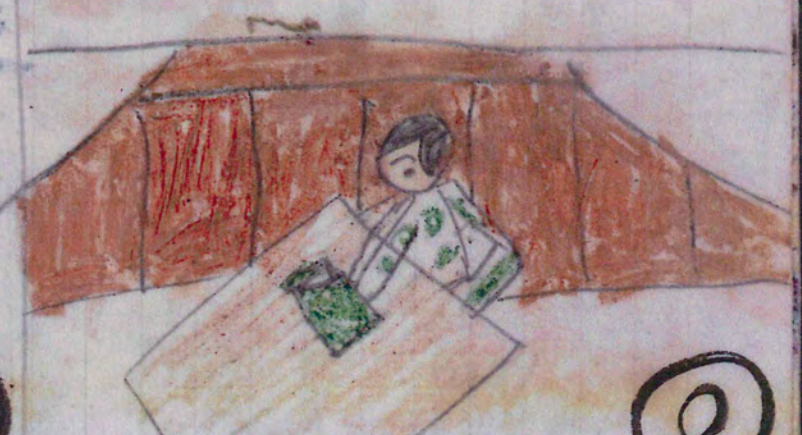






六月十三日(水) 晴  
 今朝の朝のせはなにか  
 たったのあしなにか  
 ややあしなにか  
 まみあしなにか  
 ぶつかつていなきし  
 た先生にみてもうた  
 先生にみてもうた  
 キーをとおしやまし  
 人だをとおしやまし  
 になりまうた  
 はびやうしつて  
 てはまうた

六月十四日(木) 晴  
 今朝の朝のせはなにか  
 たったのあしなにか  
 ややあしなにか  
 まみあしなにか  
 ぶつかつていなきし  
 た先生にみてもうた  
 先生にみてもうた  
 キーをとおしやまし  
 人だをとおしやまし  
 になりまうた  
 はびやうしつて  
 てはまうた



六月十六日(土) 晴  
 今朝の朝のせはなにか  
 たったのあしなにか  
 ややあしなにか  
 まみあしなにか  
 ぶつかつていなきし  
 た先生にみてもうた  
 先生にみてもうた  
 キーをとおしやまし  
 人だをとおしやまし  
 になりまうた  
 はびやうしつて  
 てはまうた

六月十五日(金) 晴  
 今朝の朝のせはなにか  
 たったのあしなにか  
 ややあしなにか  
 まみあしなにか  
 ぶつかつていなきし  
 た先生にみてもうた  
 先生にみてもうた  
 キーをとおしやまし  
 人だをとおしやまし  
 になりまうた  
 はびやうしつて  
 てはまうた



岩崎さん



六月十八日(月) 山  
 今日はおまじがたくい  
 朝から山石崎さん  
 とおきまちかある  
 がきまかあ  
 いすからかまか  
 かんを山石崎さん  
 た。私は岩崎さん  
 とせんゆうたのでち  
 やうどいとおも  
 ひました。私もあり  
 かいだのいせせんた



六月十七日(日) 山  
 今日はおまじがたくい  
 朝から山石崎さん  
 とおきまちかある  
 がきまかあ  
 いすからかまか  
 かんを山石崎さん  
 た。私は岩崎さん  
 とせんゆうたのでち  
 やうどいとおも  
 ひました。私もあり  
 かいだのいせせんた



六月二十日(水) 山  
 今日はおまじがたくい  
 朝から山石崎さん  
 とおきまちかある  
 がきまかあ  
 いすからかまか  
 かんを山石崎さん  
 た。私は岩崎さん  
 とせんゆうたのでち  
 やうどいとおも  
 ひました。私もあり  
 かいだのいせせんた



六月十九日(火) 山  
 今日はおまじがたくい  
 朝から山石崎さん  
 とおきまちかある  
 がきまかあ  
 いすからかまか  
 かんを山石崎さん  
 た。私は岩崎さん  
 とせんゆうたのでち  
 やうどいとおも  
 ひました。私もあり  
 かいだのいせせんた













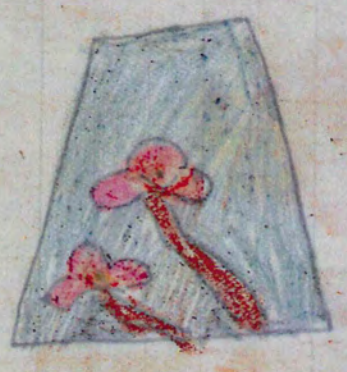
七月三十日(金)  
 先生のおしゆい先生  
 福光の先生をおお  
 くりいたしました。



二十九日(金)  
 七また四五六年  
 国民学校の人た  
 ちも四五六年のまき  
 はこびにてやだつてく  
 ださへました。



八月二日(月)曜日  
 今日はずんじつたん  
 人の日なのですが  
 くもつてゐるので  
 きません。した。そ  
 れに今日はキゆう  
 ヤうです。



八月二日(月)曜日  
 今日の日がたん  
 人の日なのですが  
 くもつてゐるので  
 きません。した。そ  
 れに今日はキゆう  
 ヤうです。





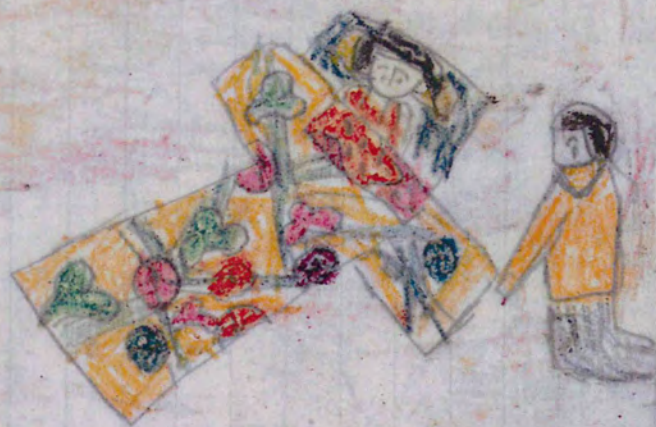
七月三日 又曜日  
 時間目には宮地先生の  
 国民をいたしま  
 した。二じかんめは、お  
 かんめは、出口先生の  
 さんすいふした。四  
 時間目は、木林先生の  
 ざわわでした。ひた  
 たで、すぐあそびしたの  
 づくれよんがべとべと  
 になつてねんどにな  
 がつてしまひました。



七月五日 (木) 曜日  
 私は、この夜の夜から  
 あたがが、べたの、で、今  
 日は、おまました。  
 そして、朝、おまは  
 いた、ただ、き、せん、で、し  
 た。おひる、ごはんは  
 いた、ただ、き、ま、した。

七月六日 (金) 曜日  
 時間目は、出口先生の  
 先生が、いらつしやう  
 して、おま、し、ゆ、つ、を、し  
 て、おま、した。二時間  
 日は、宮地先生の、よ、み  
 か、た、で、した。三時間  
 は、山先生の、し、ゆ、つ、  
 じ、つ、した。寮、にか、べ  
 っ、て、日記、をか、いて、宮  
 地先生の、ところ、へ、だ、い、に  
 い、き、ま、した。





七月七日(土)曜日  
今日は七月七日なの  
かたのどなたはたさ  
です。時間目は  
宮地先生の「く  
うです。宮地先  
生がまじりあつて  
おみかたが「おま  
ったのど」とい  
下しゆ「う」を  
おました。二時  
いしゆ「う」を  
した。

七月八日(日)曜日  
今日は七月八日です  
らいもん「ふん」を  
くは「い」けたの  
が私は「のふ」の  
れ「あ」まが「い  
てね「ア」か「ま  
した。お加「貝」  
の「せ」は「よ」  
た「さ」る「の」  
れ「く」なり「ま

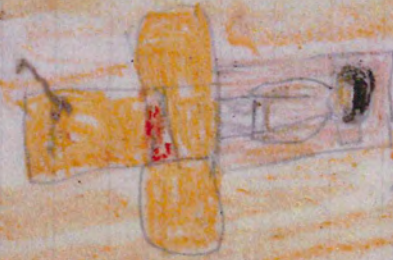
七月九日(月)曜日  
今日は七月九日  
した。お加「貝」  
の「せ」は「よ」  
た「さ」る「の」  
れ「く」なり「ま



七月九日(月)曜日  
今日は七月九日  
した。お加「貝」  
の「せ」は「よ」  
た「さ」る「の」  
れ「く」なり「ま

七月十日(火)曜日  
今日は七月十日  
した。お加「貝」  
の「せ」は「よ」  
た「さ」る「の」  
れ「く」なり「ま





⑦月二十一日(木)曜日  
 今日前田(窓)で  
 風呂があるのです  
 るのあとで福山先生  
 と前田窓へいってお  
 風呂にはいりました。

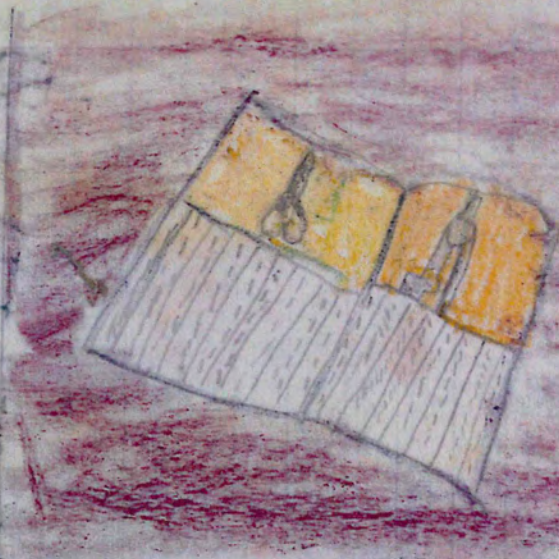
⑧月二十一日(水)曜日  
 今日(窓)もちがわるか  
 つたので朝おてあまし  
 た。みんながちやうかい  
 をしてゐると(窓)なり  
 かはせんせいがいらいし  
 やつてみてもたさへま  
 した。たれかはせんせい  
 にはおきていじきやうに  
 してよろしいとおつし  
 やいました。



⑨月二十三日(月)曜日  
 今日朝私は、こんど  
 先生にみんたとつしよ  
 した。ただ、いまいすおと  
 さしたらいとおつしやつた  
 ので私はみんたとつしよに  
 ごはんをいれたきにいま  
 だ。いかにめに宮地先生のこ  
 くごうでした。二時間はなま  
 先生のおんがくですがしゆうを  
 いたしました。三時間は山先生  
 のせんすうでした。夕方九、れ  
 いまもかへにいきました。

⑩月二十二日(日)曜日  
 今日(窓)はたいぶ病気が  
 よくなつたので私は、こん  
 ど先生のたいくたさ  
 った。(窓)はんをいれた  
 ちやうかいだけだにま  
 した。けれど今日は、こ  
 ぐんなのでちやうかいは、  
 お宮のけいだいでした。ま  
 した。





七月二十四日(火)曜日  
 今日は二時間目も三時間目も三時間目もみんないしゆりぐりした。二時間目のきわりぐりけいけいけいほちになりました。



七月二十五日(水)曜日  
 今日は朝ごはんをいっただいごかりごせんちゆりだけげんのしやうこをとりにかきました。けれど私はきもあがわなかつたのでちゆうづかへつてきました。おひるはあかあかおあかした。山下をかへつておもしろいしました。夕ごはんのとまかりんとをいたたきました。



七月二十六日(木)曜日  
 今日三時間目は山口先生のせんすうりです。三時間目は福山先生のつづりかたですがじゆんがせしおもしろい。



七月二十七日(金)曜日  
 今日ちやうくわいせしてゐるとけいほうにまじりました。二時間目は山口先生のおさんすうりでした。せんすうりのおじかんに、長のおつこをいきました。





① 十八日(土)曜日  
 今日はおび川の方に  
 やくさうかりにいきました。  
 たくさんたくさん  
 人やくさうがあら  
 にまこちのにもありま  
 した。どちゆうづおさか  
 たつりをみました。おさ  
 かなつりのむつかけるものも  
 ちさんがまつて川の中には  
 行きました。川にまぐるた  
 びにおさかなをむつかけるの  
 でした。

② 十九日(日)曜日  
 今日はおんちやちやふ  
 たせうをうました。け  
 れどちかなか兵たいせん  
 がらつーやらのたひのでか  
 けあしやおしくらのけ  
 いこをいたしめた。け  
 どあべ先生が私とかげちか  
 せんはおしくらをやめた  
 ほうがいとおわらったの  
 で私とかげちかせんはや  
 りませんでした。



③ 二十日(月)曜日  
 今日私はきもちがわる  
 かったのでねておま  
 した。みんなが寮にかへ  
 っ来て、少したつと、こ  
 ちひつにあつた。けれど  
 ってきました。けれど  
 私はねておるのであつ  
 まりに、きませど、あつ  
 すると山崎さんがお  
 くわしをもつてきて、く  
 だせ、ました。

④ 二十一日(火)曜日  
 今日はおんちやちやふ  
 はんこで、けれどちかな  
 ちやふをうました。け  
 どちゆうづ少づらした  
 のでちゆうづとへんなにな  
 っしてしましました。





八月二日(水)曜日  
 今日も私は、きまぢ  
 がわらかったのであ  
 ておまじした。すると  
 みんなが山口先生と  
 とくためをとりに  
 山下宮地の前たとり  
 にきまじした。



八月一日(水)曜日  
 今日おひるごはんを  
 いただいて、宮地先生  
 へかへつて少ししたつと  
 福山先生がおかへり  
 になりにまじした。すると  
 と、宮地先生がお  
 かへりになつてしまひ  
 まじした。



八月四日(土)曜日  
 今日も私は、山下宮  
 地へおまじした。すると  
 はみんなすいんに  
 つてしまひました。ご  
 はごするでいた。ごす  
 のあとで、いりごめをいた  
 だきました。

いせま  
 あり

八月三日(金)曜日  
 二時間目は山口先生の  
 サンプルでいた。二時間  
 目は宮地先生のごく  
 ごうでいた。三時間目は  
 福山先生のおしゆつじ  
 でした。おしゆつじは、  
 いせまのりのおせいで  
 でした。





八月五日(日)曜日  
 今日も寝てゐるまで  
 た。朝はは人もおひ  
 る。おはんも夕ごは  
 もみんたな午加貝さん  
 が持ッて来ッてくれた。セ  
 いまよした。私はごつ  
 と寝てゐるとつまら  
 ないなあと思ひひ  
 ました。

八月六日(月)曜日  
 今日みんなが朝  
 はんを、いたたき  
 にいッてあるとき、  
 山先生がしきんをも  
 らうとおつしやつたの  
 で私はしきんをもと  
 りました。



八月七日(火)曜日  
 今日、たなはばたてま  
 の思です。朝はつごしの  
 や、い、をすると、いふので  
 ふとんを、い、しき、につん  
 してしまひました。けれど今  
 日は、四五年のむつごしでした。  
 私たちには、つごしのい、まに  
 なるので、二時まで、園子校に  
 ました。すると、つごちや、せん  
 せ、が、い、の、い、ま、した。夕ごは  
 んの前には、い、が、い、も、と、こ、を、あ  
 の、あ、や、あ、ま、した。おやつのおと  
 ち、い、ま、した。

八月八日(水)曜日  
 今日、は、じんじ、の、い、だ、に  
 につ、ち、ち、ち、く、わ、も、と、した  
 あ、で、い、い、と、い、せ、ん、せ、い  
 の、ち、よ、く、い、ほ、う、ど、く、が、あ、り  
 ました。





① 月九日(木)曜日  
 今日私たちのあみ  
 つこいすすちやうく  
 かいがわつたらう  
 へまどつてきて六年の  
 おれんさま方にお  
 にもつをまつた。だ  
 きました。本田家に  
 はたまたがいつはあり  
 ました。

② 月十日(金)曜日  
 今日ちやうくわが  
 おはつから私たちが  
 は、白地先生とついで  
 大にさん。ばつやにい  
 きました。宮地先  
 生の女はみじかくきつ  
 ったのでみみの上まづ  
 きました。



③ 月十一日(土)曜日  
 今日また宮地先生が  
 まうちにおかへりなりました。  
 白地先生はおかへ  
 おかへりになったのでおひるご  
 はんの時いらつたので私は  
 びっくりして聞きますと  
 新家さんがきつぷがかへたか  
 ったのだった。いひました。おひ  
 るはよのあどで出崎さんのご  
 はんを持つて本田家へかきました  
 すおえのあとでおぢやがのおやつ  
 がありました。

④ 月十二日(日)曜日  
 今日サキばんとあとはん  
 がかれる日です。今日は私  
 ち二年生は、とよかんさん  
 やうをいたしました。私たち  
 は、一時間目も二時間目もどし  
 ゆうてした。三時間目は山口先  
 生のゼンすうでした。

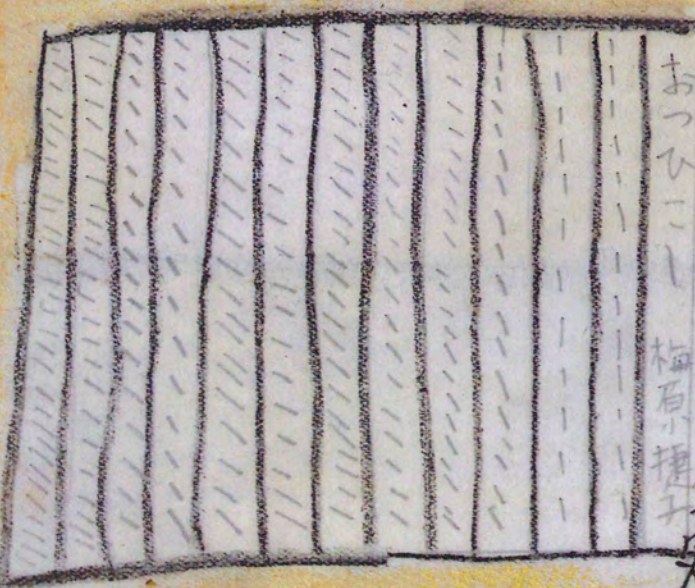






十三日(月)曜日  
 間目は山口先生の  
 さんすうがうでした。さんす  
 うは、お宮のけいだいのう  
 にいっせ、せみのめめけがら  
 やとんぼをかまへまいた  
 す組と、松本さんがやごを  
 みつけました。そいで、キ  
 ねんちの方にいくとまた松  
 本さんがはったをつかまへ  
 ました。三時に、ハリごめ  
 のおやつをただきました。今  
 日ははじめて、本田客のお  
 ふろには、りまいた。か  
 みあら、いもしました。  
 三時に、ハリごめのおや  
 つがありました。

十四日(火)曜日  
 間目のおしせいでしゆうを  
 けいけい、けいはうになり  
 ました。私は、いそいで  
 空防ふくさうにととのへま  
 した。それか、らるんにつ  
 きをかいておました。  
 す組と、山口先生がどくだ  
 みを取りに、いっか  
 ら外にでた。いとおしやめ  
 たので外に出ま  
 した。山下客のうらの方  
 にとりこいた。千加貝さん  
 がへびのかはをみつけま  
 した。三時間目は、福山先  
 生のつづりかたで  
 した。つづりかたのは、お  
 なつこしといふ  
 だいでした。三時間目がお  
 あると、私は、つく  
 えの上で、おねるといふ  
 ので、いそいでにもつを  
 持つて、一そろい、いそ  
 いで、いそいで、いそいで  
 きました。



あつひこし 梅原権次







月十七日(金) 曜日

日はきゆうぎやう日です。朝のちやう  
わいをすませて、客小にかへつて來まし  
た。10時にだんづまめとほいのかのおや  
つをいただきました。それからり本やアガミ  
をみるまいた。するとちやうしよくや  
ういと、おつしやつたので、きましたけれど私  
は、せつしよくてした。客小にかへつてきて、みる  
と、福山先生がおべんどうをおたべなさん、  
とおつしやつたので、私は、にかへつたべま  
た。少したべたと、思ふと、宮口地先生が  
わとかまなさん、とおつしやつたので、いつみ  
ると、こんどは、3時のおやつでした。  
おやつは、のりに、ほいがかてした。おやつを  
いたただいたあとでのこりのごはんをいただい  
てるると、こんどは、ターしよくやうにたな  
りまました。私はそのままだに、おべんどうば  
このふたをして、おはしは、こと、おべんどうば  
こをもつて、いさました。ターしよくやうに  
は、いただけいただきました。



月十八日(土) 曜日

二時間目は、宮口地先生のおんがくです。  
三時間目は、並木先生のおんがくです。來木  
先生が東京へおかへりになつたので、じし  
ゆうを、して、おました。二時間目のとき、宮口地先生  
が二時間目の時、おさうじを、しなさん、とおつしやつ  
たので、じしゆうのかはり、にして、みるまいた。  
三時間目は、山口先生のさんすうです。が、山口先  
生も、いらつしやうな、ので、じしゆうを、して、みる  
ました。四時間目の時、木林先生が、いらつしや  
つたので、さんすう、二千分、ぐら、い、しか、かな、から  
おたさ、へ、とおつしやつたので、おつしやつ、みるま  
した。私が、おつしやつたので、みるま、した。おつしや  
つたので、みるま、した。おつしやつたので、みるま、した。  
よと、いつて、おつしやつたので、みるま、した。今日は、二時  
間目の時、かき、とり、を、おつしやつ、した。









八月二十一日(火) 曜日 晴雨

二時間目は山口先生のおまじいさん  
た。三時間目は宮地先生の園遊会  
した。三時間目は福山先生のおまじいさん  
ブした。二時間目の宮地先生の園遊会  
二千子馬のところへ行った。三時間目の  
おしゆりりどはよろひかぶとのところへ  
した。客小はかへって宮地先生  
のお三時をくださ、ました。  
するをしたな、おまじいさん  
た。少ししたと、又志本さんのおまじい  
いりつやい、ました。宮地先生がまじい  
とおまじいさん、また。それか、り  
少ししたと、白地先生おまじいさん、り  
とおまじいさん、また。それか、り  
るまの、おまじいさん、また。それか、り  
モマセ、ました。夕方の、おまじいさん、  
は、おまじいさん、また。それか、り  
やけかたのおまじいさん、また。それか、り  
おまじいさん、また。それか、り  
やが、おまじいさん、また。それか、り  
にかへって、おまじいさん、また。それか、り  
にかへって、おまじいさん、また。それか、り



八月二十二日(水) 曜日 曇

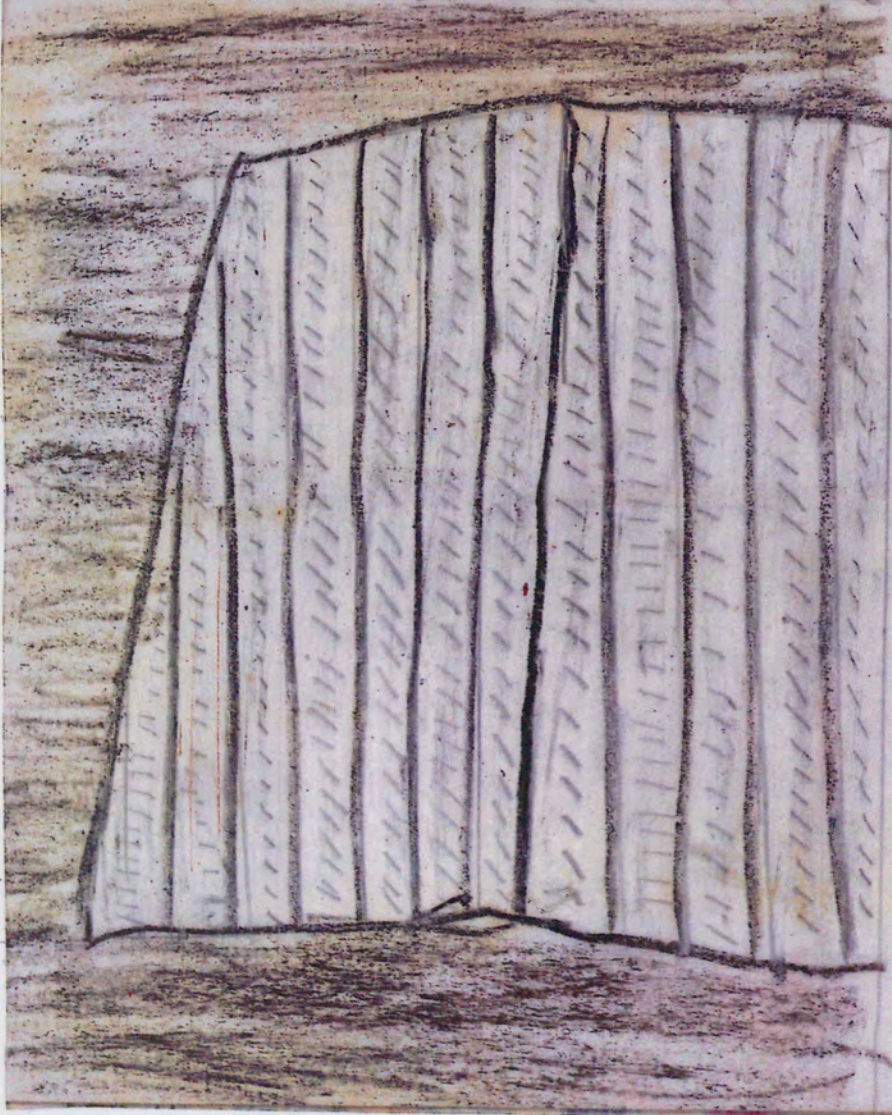
二時間目は山口先生のおまじいさん  
た。三時間目は宮地先生の園遊会  
した。三時間目は福山先生のおまじいさん  
ブした。二時間目の宮地先生の園遊会  
二千子馬のところへ行った。三時間目の  
おしゆりりどはよろひかぶとのところへ  
した。客小はかへって宮地先生  
のお三時をくださ、ました。  
するをしたな、おまじいさん  
た。少ししたと、又志本さんのおまじい  
いりつやい、ました。宮地先生がまじい  
とおまじいさん、また。それか、り  
少ししたと、白地先生おまじいさん、り  
とおまじいさん、また。それか、り  
るまの、おまじいさん、また。それか、り  
モマセ、ました。夕方の、おまじいさん、  
は、おまじいさん、また。それか、り  
やけかたのおまじいさん、また。それか、り  
おまじいさん、また。それか、り  
やが、おまじいさん、また。それか、り  
にかへって、おまじいさん、また。それか、り  
にかへって、おまじいさん、また。それか、り







月二十三日(木)曜日 日雨云雨  
 は、夕方、雨がやみ、日です。ちやうどわ  
 つかから寮にかへりました。10時に  
 おたんごを、五ついたただきました。それ  
 から本をよんでみると、ちやうど食やうい  
 とおつちやうたの、ちやうどいせいで、外にでや  
 すると、雨がふつてゐるので、先生におきこ  
 つかにかへ、つて、かきもと、てきました。おひる  
 ごはんを、たたくて、寮小にかへると、また、と  
 まると、おもしろいがありました。夕べは、んをい  
 だ、寮小にかへつて、夕方から、本田寮だけ、  
 ぐらうか、い、を、いた、しました。今日は、宮地先生  
 のまた、え、さんのおはなしも、あり、ました。



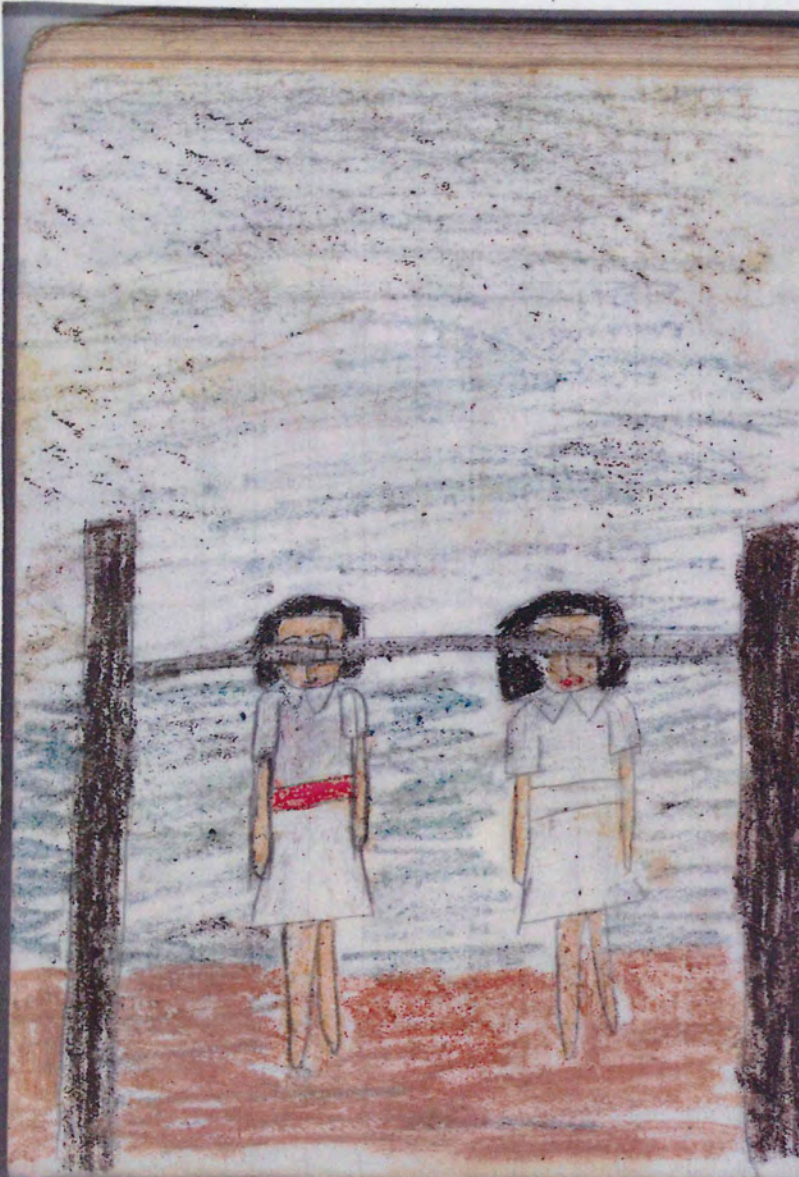
月二十四日(金)曜日  
 間目は、宮地先生のこくご、つ、す、が  
 先生が、病人のおくすり、をか、に、こ、が、ら  
 か、こ、と、り、を、い、て、お、ら、う、し、や、い、と、お、つ、ち、や、う、た、の、い  
 か、こ、と、り、を、い、て、お、ま、し、た。二時、間目は、立木  
 先生の、立目、が、く、す、が、立木先生、の、い、ら、し、や  
 ら、な、い、の、で、い、し、ゆ、り、を、い、て、お、ま、し、た。三時  
 間目は、山口先生の、算、す、つ、で、お、ま、し、た。四時、間  
 目は、本林先生の、ぐ、わ、つ、た、つ、ぐ、わ、を、やる、ま、へ  
 に、じ、く、た、み、を、と、り、に、山、下、病、院、の、う、ら、の、か、に  
 い、ま、し、た。寮小にかへると、男子は、入浴  
 した、が、と、り、や、め、に、い、ま、し、た。



八月二十五日(土)曜日 晴



今日は山口先生のさんすう、リバイが山先生が  
りたよの、いれゆりをして、おま  
福山先生が二年生は、体さりのや  
やったので外へ出ました。三時間目は、宮地先  
生のこくご、リバイが山先生が、りたよの、いれ  
たよの、いれゆりをして、おま  
たよの、いれゆりをして、おま  
かへると、三時までが、おま  
は、いれゆり、に本をみたりと、らんと、ふをして、あそ  
んだり、たりました。夕ごはんの時きたよこ  
がでました。今日の二時間目の体さりは、下  
つぼうとかけつこの、さよ、つぼうと、たよ、ま  
た、さよ、つぼうと、は白の、かた、下、した。



八月二十六日(日)曜日 晴



今日は、宮地先生のこくご、リバイが山先生が  
りたよの、いれゆりをして、おま  
福山先生が二年生は、体さりのや  
やったので外へ出ました。三時間目は、宮地先  
生のこくご、リバイが山先生が、りたよの、いれ  
たよの、いれゆりをして、おま  
たよの、いれゆりをして、おま  
かへると、三時までが、おま  
は、いれゆり、に本をみたりと、らんと、ふをして、あそ  
んだり、たりました。夕ごはんの時きたよこ  
がでました。今日の二時間目の体さりは、下  
つぼうとかけつこの、さよ、つぼうと、たよ、ま  
た、さよ、つぼうと、は白の、かた、下、した。





八月二十七日(月)曜日晴

今日は二年生としよかんブート。  
時間目は山口先生のさんすうですが  
先生がとしよかんにいっしやられたよ  
のねてねてしまひました。時間目は  
宮地先生のこいこいですが宮地先生  
がいっしやられたよ。時間目はしゅ  
うをしておきました。三時間目は福山先生  
のおしゅうじてすが福山先生は私たちがの  
みあらいのおゆをあかしてあいらっしやった  
のでしゅうをしておきました。四時間  
目のねだまりのた、かたよったとき福山  
先生が大いそぎでかけてあいらっしや  
ました。かみあひがすまといそいで  
学校にいそよと。客小にかへると女  
は本田さんのおいふるにはありました。  
今日は朝からてきひかうそかと入てま  
した。

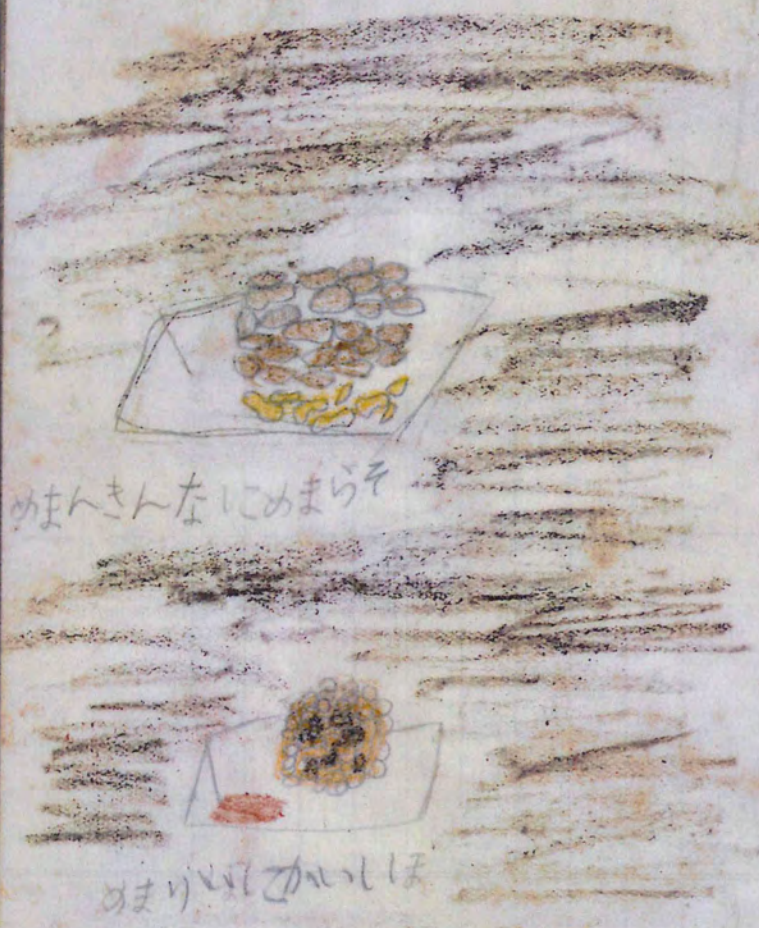


八月二十八日(火)曜日晴

今日は宮地先生のこいこいブート。  
時間目は二十うそぎとたね文のとき  
です。二時間目は山口先生のさんすう  
ですが山口先生がたなか二号そぎうひ  
つにいっしやられたよ。私はねてま  
ひました。三時間目は木林先生のつね  
した。ぶくおねするじ敷のそばにあらうそ  
ぎのしやせいをたしました。おひるごはたの  
おつゆの中にはにしんがは入つてありました。  
客小にかへるとすぐお三時がありました。  
お三時はかんぱんにかりんとにおいのか  
たまつてなや、なあまへあかしてました。







めまらんをにまらん

めまらんをにまらん

二十九日(水)曜日  
 さゆりやうやう日です。ごせんちやう  
 にかへって日記をかいておきました。  
 とみんたが宮地先生のところから  
 おろはしを、たいてきてるんをか  
 ておるので、私もいたいてきて、山崎さん  
 とはんぶんにかいてるんをかきました。  
 私は、綴子校でこうしんをしておるんをか  
 きました。お10時にいりまめを、ただ  
 きました。ちようよくをいたいたあ  
 はまた、宮地にかへってきました。寮にか  
 へってきて、るんのつぎをかいておると、また  
 おり時がありました。おり時は、そら  
 まめのいったのに、はんをまめした。



三十日(木)曜日 晴のち雨  
 第一日目のびぎやうです。二時間目  
 は、宮地先生のこくごう日です。宮地  
 先生は、つしやらな、のでいしゅを  
 しました。二時間目は、立木先生のおんがく  
 でした。三時間目は、山口先生のせんす、うて  
 した。四時間目は、木林先生のづくあて  
 おんがくは、うさぎのところでした。三時間目  
 のせんす、うは、むべいじのところをおなら  
 いたしました。四時間目は、うさぎのしやせを  
 いたしました。おひるごはんをかいたあ  
 で、寮にかへるのかと、思っていました。た  
 ると、寮にかへらたよ、とおし、たので、私は  
 つかぬ、おて、ひました。















九月廿一日(木)曜日

今日(木)は、ゆうぎや、  
食卓のたいて、ちや  
せいの、客小にかへりま  
ひようの、のがたりと  
と、福山先生が二年女  
いにいらつしや、とおつ  
いをもつて、かみあらひ  
かみあらひをすませて  
ると、もうお食しでし  
いて、また、客小にかへ  
は、おふるには入の、  
つせきぼのはじめの四人  
した。

私は、おてきがひと  
は、入川、ました、夕食、ちかくたなるとなり  
かは、せんせい、物、いらつしや、つて、ま  
さる、さん、と、石崎、さん、を、みて、く、だ、さ、ま、し  
た。そして、おてき、の、と、も、し、ん、は、  
だ、さ、る、と、お、つ、し、や、つ、た、ら、宮、地、先、生、が、梅、原、さ  
人と、お、よ、び、に、な、つ、た、の、で、お、つ、て、み、て、く、だ、さ、ま  
した。よるは、ごらうか、の、で、河、井、さん、が、こ  
ばんに、ま、く、ろ、く、を、か、ま、い、た。ごらうか、  
の時、に、な、る、と、宮、地、先、生、が、お、か、へ、り、に、な、る  
の、で、し、た。ごらうか、の時、か、ん、は、く、は、つ、く  
だ、さ、ま、い、た。今日、は、福、山、先、生、の、お、話、ま、あ、り  
ま、し、た。



昨日

朝

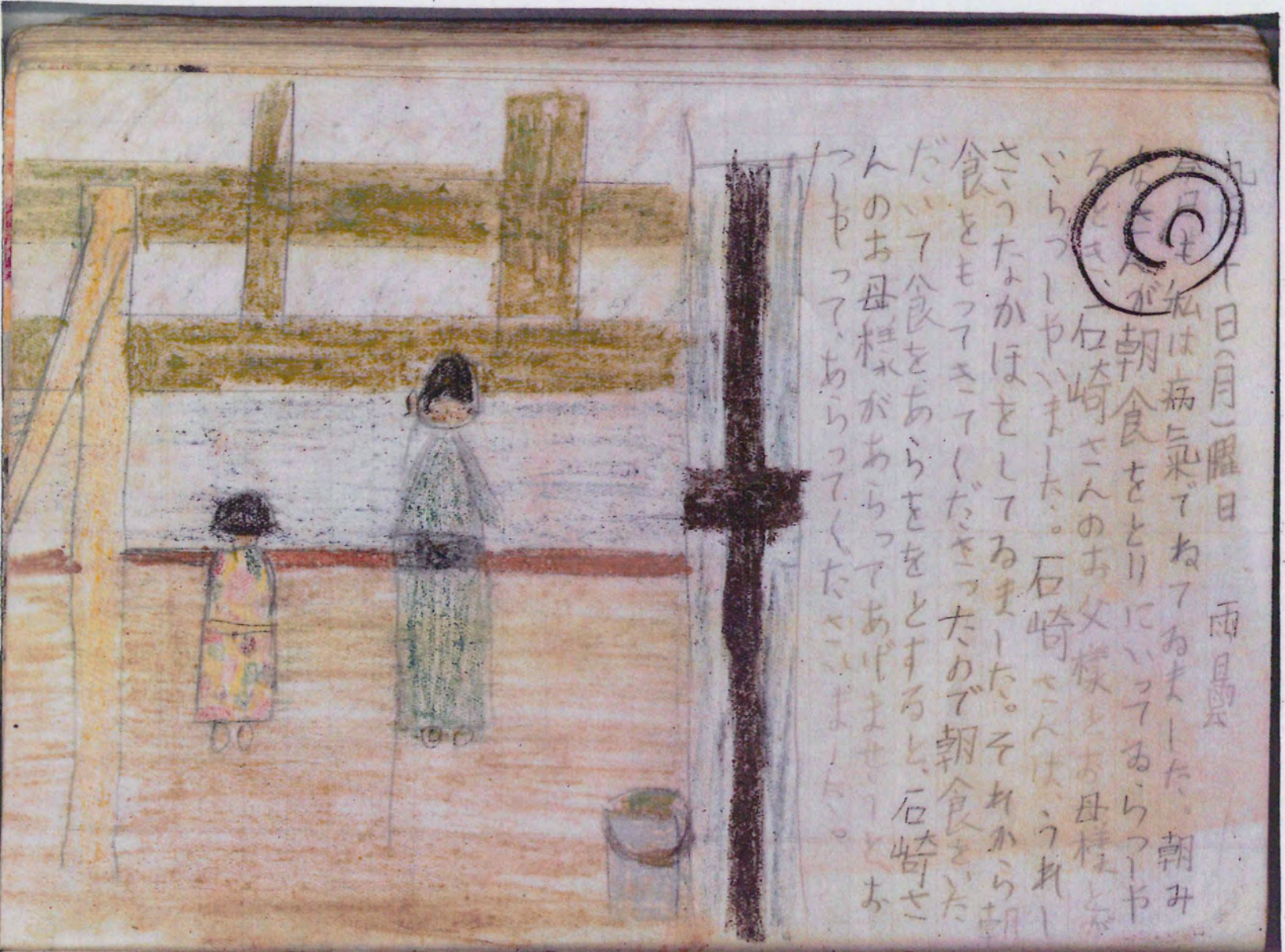
今日(木)は、朝、お、きた、時、少、し、あ、た、ま、が、い、た、か、つ、た、の、で、  
福、山、先、生、に、い、ふ、と、朝、食、だ、け、た、べ、に、い、き、た、ま、さ  
いと、お、つ、し、や、つ、た、の、で、朝、食、を、た、べ、に、い、こ、う、と、す、る  
と、さ、い、の、よ、す、け、先、生、が、今日、は、客、小、に、か、へ、つ、て  
こ、な、い、と、お、つ、し、や、つ、た、の、で、お、べ、ん、さ、や、う、の、ど  
う、く、も、も、つ、て、い、き、ま、し、た。一、時、間、目、は、宮、地、先、生  
の、こ、く、ご、う、が、宮、地、先、生、は、お、う、ち、へ、お、か、へ、り、に  
た、よ、つ、る、ご、ら、う、し、や、ら、な、い、の、で、ど、し、ゆう、を、し、て、お  
ま、し、た。ち、ゆう、し、し、よ、く、が、す、ん、で、し、よ、つ、さ、を  
あ、ら、つ、て、來、て、か、ら、本、を、み、て、お、る、と、わ、つ、が、で、  
ま、て、あ、た、ま、が、朝、より、づ、つ、と、い、た、く、な、つ、て、ま  
ひ、ま、し、た。福、山、先、生、が、お、ん、が、く、ひ、つ、に、い、ら、つ、し、  
や、る、か、と、鬼、つ、て、お、ん、が、く、ひ、つ、に、い、つ、て、見、る  
と、お、ん、が、く、ひ、つ、に、は、福、山、先、生、は、い、ら、つ、し、や  
ら、な、い、の、で、お、き、や、う、ひ、つ、に、か、へ、つ、て、お、ち、ま、ま、い、  
つ、と、し、て、お、ま、し、た。少、し、し、す、る、と、福、山、先、生  
が、い、ら、つ、し、や、つ、た、の、で、福、山、先、生、に、い、ふ、と、お、ち、  
と、い、た、だ、い、つ、か、ら、客、小、に、か、へ、り、ま、せ、う、と、お、つ、し  
や、つ、た、の、で、枝、ま、め、の、お、ち、や、つ、を、い、た、だ、い、つ、福、山、先  
生、と、客、小、に、か、へ、り、ま、し、た。客、小、に、か、へ、つ、て、お、ん  
を、ひ、い、て、お、ま、し、た。福、山、先、生、が、私、を、ひ、や、し、て  
く、だ、さ、ま、い、た。も、つ、木、さん、が、と、き、と、き、と、り、か、へ、  
く、だ、さ、ま、い、た。











九月十日(月)曜日 雨曇  
 私は病気でねておりました。朝み  
 が朝食をとりにいってあつて  
 石崎さんのお父様とお母様と  
 いらつしてました。石崎さんは、うれ  
 さいなよかほをしてました。それから朝  
 食をもつてきてくださったので朝食を  
 だいて食事をあらわすとすると、石崎さ  
 んのお母様があらってあげました。お  
 ついて、あらってくださったよかったです。



九月十一日(火)曜日  
 病気がよくなりました。みんなが朝  
 食をいれた。だきにいっておるとさ  
 ような病気が病人はかはいさ  
 ったこと、うまさるさんのいた  
 はんを少くたさいました。私はあ  
 思つていた。だきさいました。そ  
 岩崎さんがもつてきてくださった  
 だいて食事をあらわすとすると、  
 のきは様があつてくださった。少  
 らおてきがつさつてきたのでお  
 くすりをつけました。





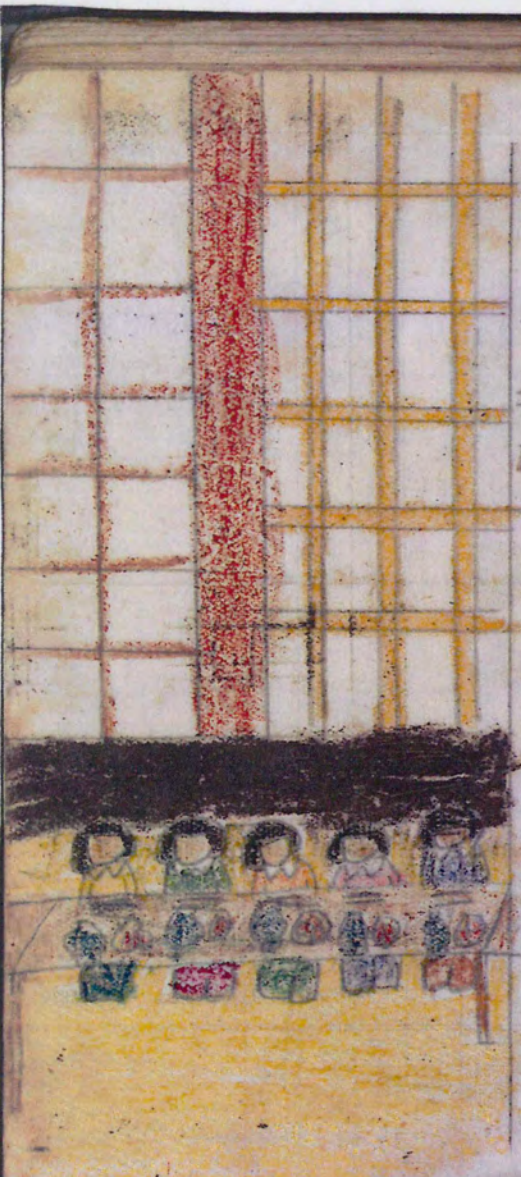






九月十六日(日) 曜日 晴

女鷗子校から国民学校にうつ  
るのついでに朝食をたいた。たいて、しよつてあ  
らうつてマカから食をきをもつて、うんどうじや  
うで三年生と二年生は、あそんでるました。  
する。皆先生がおさ、ほうひつに食をきを  
おつておらうしや、とおつしやつたのでおつてきま  
した。そして、また、おしきをするのであつま  
りました。こんどはお空のけいだ、ではなく  
てお宮のけいだ、の下でおしきをも、たしよした  
とちゆうで四年生と三年生と二年生は、か  
へつてきました。ちゆうしよくを、たいた、か  
ら寮にかへりました。寮にかへつて日記を  
かいておると、本田さんのおつちから、ごちさ  
うをだして、ごちさうしました。ごちさうは、と  
まどにあやこじんが、みたり、なごちさう  
づいた。私は、ありがたく、ただきましました。  
夕食の時、宮地先生は、おあつてなくた  
だ、おしやも、おつてなりました。



九月十七日(月) 曜日 雨

朝食をあらう、ふ前にかやうくわい、をきま  
て、ひました。食をあらうつて、来て、本田  
寮は寮にかへりました。寮にかへつて日記を  
かいておると、本をたいた。本のニ、さめ  
をみておると、もうちやうしよく、いにな  
りました。私は、本を本はこに入れて外に出  
ました。ちやう食をたいた、たいて、からまた、寮  
にかへつてきました。寮にかへつて、本をみん  
で、おると、なりかは先生が、らうしや、いま  
た。その時、時が、つたので、福山先生にき  
いて、とらうん、ふを、たいた、とらうん、  
を、して、おると、こに、宮地先生が、ごちさう、の  
どうく、を、おつて、らうしや、しました。そつて、  
みん、な、に、ごちさう、を、おし、へ、つ、て、な、ま、した。  
私は、ごちさう、の、方、が、お、き、する、の、つ、て、な、ら、べ、を  
みて、お、ま、した。すると、本田さんのおつちから、えだ  
まめのおやつを、たいて、ごちさう、しました。えだまめは、み  
んなに、お、つ、つ、あ、たり、ました。夕食、ごちさう、つ、か  
い、を、た、い、ました。





九月十八日(火)曜日 雨



今朝は朝から雨がふつておりました。朝食を  
いたしてから、客小にかへつておどぎやうを  
いたしました。おどぎやうのする  
ところがたよいのでお 天気の時はお台のけい  
だいておべんきやうをして、雨がふつた時は、客  
ズベンキやうを、いたしました。一時間目は、宮地  
先生のこくごうでした。こくごうは、三年生といっ  
よに、たしました。二時間目は、山口先生のさんす  
うでした。三時間目は、木林先生のぐくあてでした。  
二時間目のこくごうは、長い道のところでした。  
二時間目の山口先生の さんすうの時、46ペ  
じのところの上から三 だんめまでを、いたしました。  
ちゅう食は、二人にやくと、おたすのにつけました  
寮にかへつて日記をかいてから、ちよ紙  
はこをついて、あそびました。はこをついて、あ  
どは、どてもとアもあつて、本をみんで井ましたする  
と四時がなりました。私は、もうすぐ夕食の  
あと、鬼かましたする。と、宮地先生がどうぐをし  
まうて、ほつてはきた。と、おつしや、ました。  
夕食は、客小にかへつて、はっぴやうか、のあけい  
こを、いたしました。



九月十九日(水)曜日 晴



二時間目は、山口先生のさんすうでした。二時間目は  
先生のた、さうアまが福山先生は、私た  
がは入るおふるを、たいて、おらつしやつたの  
で、しゆつを、たいて、ました。三時間目は、  
宮地先生の國ごうでした。一時間目のさんす  
うは、お宮のけいだいて、虫や木のかはつたことを  
かくおべんきやう、つて、三時間目の國ごうは  
二十五日曜日の朝と、いふところを、いたしました。  
三時間目が、さると、おつかみありました。  
ちゅう食を、たいて、寮にかへりました。  
寮にかへつて、中 村さんと、日記をかきました。  
そして、日記をかいて、から、良い子の友を、みてる  
ました。するところ、時が、つたので、私は、良い子の  
友を、しめて、ごん どは、とらん、かを、しました。  
すると、鈴林さんが、おふるよと、つてきたので、  
おふるには、入りませ。と、夕食の時、おほや  
のおにつけがあり、ました。夕食は、また、せは、び  
やう、会のおけい、こを、いたしました。













二十四日月曜日 晴

朝八時をいって、七時から宮地先生が家  
の子の子ども本田容子おべんきやうをするので  
本田容子は、人ではいって、たよりました。一時間  
は、福山先生のつづり方でした。二時間目は、山口先生  
のこんわうです。山口先生は、おふるたきにい  
つやるのゴドしやうをいってました。三時間目は  
おしやうをいってました。いしやうの時は、か  
けの日記をかいてました。ちゆう食をいって  
いてから、窓にかへりました。窓にかへって本  
よんでみると、鈴木さんと加納さんが福山  
先生にあみものをいってました。あみものを  
いってると、福山先生がかんぱんのふるしき  
みを持って、いらつとあつた。あつたの  
つたの、15とりました。そのうち河井くんは  
六つをいってました。夕食は、さつまいも  
ごはんでした。



二十五日(火曜日) 晴

今日は、二年生三年生四年生は、と  
いって、おべんきやうをしました。二時間目が  
あつた。いたよの、つすが、とつやさんに、く  
しや、たの、で、一時間目におしやうをい  
ました。一時間目がはると、病気があつた  
人だけ、さんばつやにいきました。さんばつ  
から、かへつて、おしよく、しまつてあみものを  
してました。ちゆう食をいって、窓  
にかへつて、お天気がいいので、いたよ、取り  
にいきました。かんぱんを20持って行きました。  
た。この間、いだいたよ、取りに行つた時、  
りたくさんとれました。かんぱんは、木の  
ひかげで、たべました。20持って行つて、15  
だけたべました。そのうち、つだけ、い  
ました。今日は、ちゆう食に、いたよ、出ました。





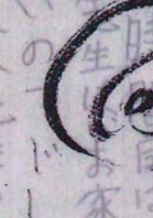
十月二十六日(水曜日) 晴



二時間目は、おしやかんて、さる先生がいらつしや  
したので、としよかんて、どしゆうをすておま  
した。二時間目は山口先生のきんすうですが、森  
先生や三年生といたよ、取にいさました。  
三時間目の時、私たちはかみありいな、の本甲着  
にかへりました。かみ洗いがすむと、またおま  
のけいだい、に、きました。ちゆう食を、ただい  
寮にかへつた私と、岩崎さんと中村さんと午  
さんとはおくおふるには入りました。おふ  
ろからあかつて、日記をかいておると、かんはん  
のふくろを持って、いらつしやいとあつしやつたの  
で私は、いぶんのと、岩崎さんのふくろを持って  
來ました。今日は20たべました。そのうち  
一つだけおしのため、こが、ありました。夕食  
の、こはんに、さといもがは入りしました。おつゆ  
には、どぢやうかは入りしました。



十月二十七日(木曜日) 曇



時間目は宮地先生の、くぐぐ、う、です、が、宮地  
先生にお家におかへりにたつて、いらつしやらた  
いの、どしゆうを、すておました。二時間目は  
立木先生のおんが、く、です、が、立木先生がおんが  
くを、するところかたよ、から、どしゆうを、  
て、あつしやいとあつしやつた、あ、私、は、きの、の、  
日記をかいておました。三時間目は、山口先生の、さ  
んすう、です、た、さんすうは、おやつに出る、え  
た、まめを、取りました。としよかんて、くるみ、ち  
の、えを、うつして、あると、おしよく、ど、です、と、五  
年女の、さか、口、さんが、いつ、きた、ので、い、す、を、か  
げ、て、お、さ、ほ、を、ひ、つ、に、い、さ、ま、い、た、ち、ゆう  
食を、いた、だ、い、て、寮、の、か、へ、り、ま、し、た、あ、つ、時  
に、え、た、ま、め、の、お、や、ぶ、お、出、る、と、い、い、の、が、かん、はん、は、  
だ、げ、し、か、い、た、だ、き、ま、せ、ん、ぐ、し、た、夕、食、の、こ、は  
んに、さ、と、い、も、が、は、入、つ、て、い、ま、し、た、え、た、ま、め、  
きたよ、こ、も、あ、り、ま、し、た、岩、崎、さん、の、お、ま、め、













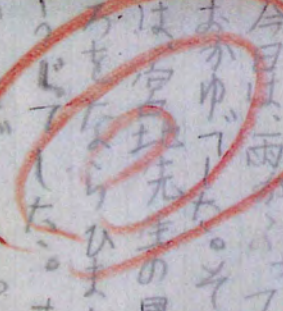
八月二日(火曜日) 雨曇云晴



今日朝食は、白いおかげです。二時目は、福山先生のつづり方でかいた、さくぶんは、宮地先生のせんす、つづりました。せんすうは、四八ペイロのつづきをいたしました。今日は二時留しがありませんでした。三時留目に宮地先生が二十六浦島太郎のところをおしへてあげようかとおっしゃったので、つづくたせるかと思っっています。それからまた、忠犬はち公の本をよんでみました。ちゅう食を、ただ、いっから、客室にかへりました。二時から小天部川の方に箱をかんばんを持って、こころぎを取りにいきました。小野さんが松せみを見つけてきました。いい田さんがこころぎを取りました。いい田さんの取ったこころぎは、しらぬうち、どこかへにげてしまわれました。ちゅう食にいたよこのつづきが出ました。夕食にいなごと、みそあえが出ました。



八月三日(水曜日) 曇天



今日は、雨ふつふつとあつた。今日も朝食は、また、白おかげです。二時目は、福山先生のつづり方でかいた、さくぶんは、宮地先生のせんす、つづりました。せんすうは、四八ペイロのつづきをいたしました。今日は二時留しがありませんでした。ちゅう食は、いなごとが出ました。宮地先生がへつ日記をかいていると、小野さんのおねえさまがめいかにいっしやいました。小野さんは、うれしそうに顔をこぼしてました。それから私は、午加貝さんにいたただいた。そ長いまのつづりをあみしました。そつ小野さんは、あつたの夜かへるといひました。いい田さんが二時になったらにかいにかいといふと、だれかがもう二時だよと、つづいたのにかいにかいしました。今日は小野さんのおねえさまが持つて来てくれた、たりんごと、かんぱんのあやつてました。夕食には、きなこがありました。





十月四日(木)曜日雨

今日は朝から雨がふってあまりました。

朝食はいつもの白いおかゆばかりになりました。

今日のあかゆにはおさつのおいしがは入ってあ

りました。一時閉目は宮地先生の國へいって来た。

一時閉目は山口先生のヤマトすゝめがじいじゆつ

をいへました。三時閉目は木林先生のぶこう

ブす木林先生はいらっしゃらないのでいっけい

をしておきました。ちゅう食をいただいてから

寮小にかへりました。寮小にかへって、あつるには

入りました。二年女が一人あとでは入りま

した。私たちがあつるから出て来ると、宮地

先生がにかにいってかんぱんをいただいてあつ

つしやいとおっしゃると、三部二三年はいただいて

来たとおひきました。すると宮地先生は

は女だけいって、いただいていらつしやいとあつ

つたのでにかにいってかんぱんをい

ました。今日はしゆい先生のあ話があるので夕食

は、四時でした。夕食は、またよこのおはせに、かほ

ちやのにつけてました。夕食は、おやぎんのお父様か

ぼんをどりをあどってもらひたいとおっしゃったの

でおどりました。それから午加貝さんのお父様

がいらつしやいました。そして、さつまいものおかしを

くたさしました。





